

11/18 木

暗証番号なしマイナも登場

現行の健康保険証を来秋廃止しマイナンバーカード一本化するに伴い、高齢者や障害者の暗証番号の設定や管理に不安のある人たちを対象に交付する「暗証番号なし(顔認証)マイナカード」の受け付けが11月末以降、全国の自治体で開始される見通しだ。マイナ保険証を補完する証明書類が続々と登場する中で現場の混乱を招きかねず、現行保険証を廃止する意味が問われる。

(長久保宏美)

- 保険証廃止後に使用される予定の証明書類**
- 暗証番号なし(顔認証)
マイナカード
 - 資格確認書
 - 資格情報のお知らせ
 - 被保険者資格申立書

■ 補完書類が次々／手続き煩雑に

■ 事前にセブン銀行のATMで登録する。一度マイナ保険証として登録した上で、保険証以外の機能を外す手続きが必要だ。

■ 顔認証マイナカードのようだ、マイナ保険証を利用

■ が検討された。暗証番号は不要で保険証の機能に限る。医療機関で受診する際は保険証としてカードリーダーの顔認証や支給職員の「目視」だけで利用できる。



顔認証マイナカードは、多くの高齢者施設の関係者が、暗証番号の管理に不安を抱えながらの要請を受け導入などからの要請を受け導入

保険証機能のみで、マイナポータル、各種証明書のコンビニ交付など暗証番号の入力が必要なサービスは使えない。カードの追記欄に「顔認証」と記載し、医療機関で見分けがつくようにする。

申請は本人が代理人が、市區町村窓口で手続きする。マイナカードに保険証の利用の初回登録をしていることが前提。登録済みの場合は、市區町村に申請書を提出することで切り替える。代理人の場合は委任状が必要となる。

登録していない場合は、事前にセブン銀行のATMで一部医療機関に設置してある顔認証付きカードリーダーで登録する。一度マイナ保険証として登録した上で、保険証以外の機能を外す手続きが必要だ。

顔認証マイナカードのようだ、マイナ保険証を利用

■ マイナ保険証と顔認証カードには二つの電子証明書が搭載できる。一つは「署名用電子証明書」、もう一つが「利用者証明用電子証明書」。健康保険証のひも付け(利用登録)は「利用者証明用」の役割。マイナ保険証で医療機関を受診するには、カードリーダーにカードを設置し、顔認証で本人確認するか、エラーが出た場合は申請時に登録した4桁の暗証番号を入力する必要があった。「顔認証カード」はこの手間を省く。マイナ保険証を持つない人の保険証の代わりとなる「資格確認書」が保険者(保険組合)から交付されるが、交付時期などについては未定。

現場は混乱 保険証廃止

東京慈惠会医科大学附属病院を複数回来院する人
にマイナ保険証利用を呼びかける活動チラシ
相模、武蔵境界線=13日、東京都調査課